



## 2014年経済(経済)第3問

3 1から10までの数字を1つずつ書いた10枚のカードを数字の小さい順に左から右に並べる. この中から3枚を無作為に選び, いずれのカードも元の位置と異なる位置に置くという操作を考える. この操作を2回以上続けて行う場合, 2回目以降はカードの並びを一番最初の状態に戻すことはせず, 1回前の操作で置き換えられた状態から3枚を無作為に選ぶ. また, 選んだ3枚のカードについて元の位置と異なる位置への置き方が複数あるとき, いずれの置き方も等しい確率で選ばれるものとする. 置き換えの操作を $n$ 回続けて行ったとき, 一番左のカードが10である確率を $P_n$ で表す.

(1)  $P_1 = \frac{\boxed{\text{ハ}}}{\boxed{\text{ヒ}}}$  である.

(2)  $n$ 回の操作の後で一番左のカードが10であり,  $(n+1)$ 回目の操作の後も一番左のカードが10となる確率を $P_n$ の式で表すと  $\frac{\boxed{\text{フ}}}{\boxed{\text{ヘ}}} P_n$  となる.

(3)  $n$ 回の操作の後で一番左のカードが10ではなく,  $(n+1)$ 回目の操作の後で一番左のカードが10となる確率を $P_n$ の式で表すと  $\frac{\boxed{\text{ホ}} P_n + \boxed{\text{マ}}}{\boxed{\text{ミ}}}$  となる.

(4)  $P_{n+1}$  を  $P_n$  の式で表すと

$$P_{n+1} = \frac{\boxed{\text{ム}}}{\boxed{\text{メ}}} P_n + \frac{\boxed{\text{モ}}}{\boxed{\text{ヤ}}}$$

となる.

(5)  $P_n = \frac{\boxed{\text{ユ}}}{\boxed{\text{ヨ}}} \left( \frac{\boxed{\text{ラ}}}{\boxed{\text{リ}}} \right)^n + \frac{\boxed{\text{ル}}}{\boxed{\text{レ}}}$  である.